

ぽっかぽか 4がっ



ご進級おめでとうございます。いよいよ園生活最後の一年がスタートしました。新しい環境に期待を膨らまして楽しむ子もいれば、少し緊張したり不安定な様子の子も見られます。一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、“楽しい場所”“安心できる場所”と感じられるよう関わっていきたいと思います。

今回は進級後の移行期間の子どもたちの様子をお伝えいたします。

遊び

きりん組の頃に「らいおん組になったらレゴを出す」という約束を子どもたちと交わしていました。進級後にしっかりと約束を覚えている子どもたちから「遊びたい！」と声が届き提供すると大喜び！しかし、さすが新年長組。遊ぶ前にレゴのルールを作ろうと子どもたちの話し合いから始まりました。文字を書くことが得意な子、意見を出すのが得意な子に分かれ、子どもたちだけの会議が始まりました。「なくさないのが一番大事だよね」「壊されちゃったら悲しいから、友達作品を触らないようにしよう」「譲り合おうね」などと滞ることなく意見と賛同が飛び交い、一瞬で“レゴのお約束”が完成しました。

提供から一カ月が経とうとしていますが、まだまだハマっている子どもたち、時には大人でも思いつかないような発想であったり、あのキャラクターを再現してみよう！と高難度な遊びに移行しています。

新一年生組が卒園すると、遊べる玩具がまた増えます。その中にLaQ（ラキュー）という日本生まれのブロック玩具があります。以前新一年生組が展覧会として飾っていたものです。

よりレベルの高い想像力や表現力、思考力が遊びながら鍛え上げられるものとなっており、どんな発想が生まれるか今から楽しみです！

お片付け

クラス全体の課題として片付けがありました。片付けの中にも、①遊んだものを戻す。②おままごとやレゴなどは分解してパーツごとにしまう。③本を縦向きで戻す。④作品はロッカーにしまう。などが子どもたちから出てきました。それから週単位で一つずつ意識して取り組む期間を設け、その間は大人や気づいた友達から優しく声をかけ、自分の物ではなくても声を掛け合うことで共通の成長チャンスとなりました。

ある程度習慣として身につくと、自ら片付けたり、優しく声をかける子が増え、大人が伝える場面はどんどん減っていきます。この“習慣化までの練習期間”は何度も声をかけることとなり、「前も言ったのに」と思ってしまうかもしれません。しかし丁寧に関わり積み重ねることで、ある時いきなり成長します。そうでなくとも成長の過程が必ず見られます。そこに気づいて認めることで、子どもたちはより主体的となり自立へ向かっていきます。ぜひご家庭でも“習慣化までの練習期間”を設けてみてください。また、「こんなことで困っているんだけど…」ということがありましたらお気軽にご相談ください。アイデアマンですので一緒に考えましょう！

年長児としての一年は『自分で考えて行動する力』『友達と協力する力』が育まれていく大切な時期です。日々の遊びや生活の中で、小さな選択や挑戦を積み重ねながら、自身につなげていけるよう援助して行きます。

また、保護者の皆様もこれからの一年は就学に向けて様々な悩みや不安が生まれていくことと思います。どんな時期でも面談のお時間は取れますし、些細な事でもお気軽にお伝えください！共有して連携して共にお子さんの成長を見守っていきましょう！今年度もよろしく願いいたします！